

広報 **おん** 新潟県津南町

No.679

2018

**1.20**

TSUNAN TOWN

謹賀新年



# つなんじかん



## 大迫力！

町中の雪をきれいに除雪するために  
欠かせないロータリー車！  
手前のらせん状になった歯で雪を砕き  
そして中へ吸引  
さらに奥にある歯で粉碎  
最後に象の鼻のように伸びた筒から  
雪を飛ばします  
目の前に来るとあまりの迫力に少しびっくり  
でもどこか力強さと頼りがいを感じます  
雪国の“主役”です

# 目次

-contents-

## features

---

- 04 **年頭所感**
- 08 **ジオサイトを探検し隊!**  
～特別編 ジオパークと津南町の歩み～
- 16 **いきいき大好き津南町**  
～健康に関するアンケート結果から  
わかったこと～

## regulars

---

- 10 見て・知って・得をする **かわらばん**
- 12 つなまちかどスケッチ
- 14 十日町税務署からのお知らせ
- 15 町立病院運営審議会だより
- 18 国保だより
- 19 はーい保健師でーす  
健康づくりア・ラ・カルト
- 20 病院歳時記 年金コーナー  
100日運動 議会コーナー
- 21 Tapでいこう!  
地域おこし協力隊だより
- 22 広報ライブラリー ペンリレー
- 23 つなんの文芸
- 24 なじょもん通信 戸籍の窓  
津南町の人口

記事訂正について

先月号で掲載いたしました特集について、文章内で「長野県小高町」「四葉会」と掲載いたしました。正しくは「長野県穂高町」「よつば会」でした。訂正してお詫びいたします。

町では津南音声訳の会さんに広報つなんの音声訳を委託しています。

お聞きになりたいかたはホームページをご覧ください。詳しくは総務課（TEL 765-3112）までお問い合わせください。

# 年頭のあいさつ



津南町長  
上村憲司

明けましておめでとございます。  
年頭にあたり、謹んで皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

また、日ごろより町政にお寄せいただきご理解、ご支援並びにご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は春先から続いた天候不順により、稲作では著しい品質低下と収量減となり、畑作でも品質の低下と収量減にみまわれ、農業が基幹産業である我が町にとっては、大変厳しい一年でありました。

しかしながら、近年津南のブランド力は着実に高まり、ここ数年の第一次産業出荷額は三割を超える伸びを示すなど、その取り組みの成果が順調に現われてきました。私は、町

長就任以来「強くて、どこよりもやさしい町」を町政の基軸に掲げ各種施策を進めてまいりましたが、年頭にあたり主要な政策についてその考えかたを申し上げます。

始めに農業ですが、稲作では、昨年の反省を踏まえ、今後のさまざまな気象条件に対応するため、土壌改良など生育基盤の更なる整備と、堆肥の投入を含めた土づくりに対する補助制度の創設を検討しています。また畑作でも、安心安全な農産物の生産と6次産業化を含む高付加価値化を目指した施策を進めてまいります。

教育関係では、昨年津南中学校が、ふるさとを誇りに思う教育の実践で全国表彰を受け、中学校駅伝大会では県大会並びに北信越大会

で優勝し、全国大会でも堂々の走りを見せてくれました。明日の津南を担う子どもたちの活躍を共に讃えたいと思います。また、支援が必要な子どもたちの教育環境を充実させるために、特別支援教室や多目的スペースの設置など、津南小学校校舎の増築を進めています。保育園の統廃合につきましては、保護者の皆様からの早朝・居残り保育や未満児保育の要望が増えていることから、より子育てしやすい環境づくりに向けて引き続き努力してまいります。

ところで皆さん、津南町は3万年前、県内で最初に人間が住み始めた地だと知っていましたか？こうした誇り高き津南を堂々と伝え続けるため、旧中津小学校を苗場山麓ジオパークの拠点施設として位置づけ、大地の歴史や縄文時代から続く雪国文化を発信する施設として基本設計を実施いたしました。新年度以降、施設整備を進めてまいります。また、雄大な中津川渓谷や河岸段丘を眺望できる展望台を、ニュー・グリーンピア津南及びマウンテンパークゲレンデ附近に整備しました。思わす息を呑む雄大な眺めです。新たな観光スポットとしてお越しいただければ幸であります。

本年夏には、第7回大地の芸術祭が開催されます。町内でも多くの作品が展示される予定になっており、その一つとして、香港政府の事業による香港ハウスが上郷逆巻地区に建設されることになりました。地元の皆様のご理解に対し深く感謝申し上げますとともに、東アジアにおける文化の発信及び交流の拠点施設として活用されることを心から願っております。

ります。

「みんな雪のおかげ」、これは私の町づくりのキーワードの一つです。昨年は、抗酸化作用のあるリコピンを多く含む雪下になじんのジュース「雪くれない」を商品開発しました。豪雪で知られる津南町ですが、豊富な湧水と豊かな森林資源などを雪の恵みととらえ、安心安全な農産物や多くの特産品を「津南ブランド」として全国に発信するなど、雪を活用した施策を今後も進めてまいります。

町立津南病院につきましては、経営体制の抜本的な改革について、町立病院運営審議会に諮問し、昨年末に答申をいただきました。この答申を踏まえ、病床数の再編や診療体制の見直しなどを進めますが、「町民の命と健康を守り続ける津南病院の維持」を基本理念として、医療体制の再構築を行ってまいります。

町財政の厳しい状況は変わりませんが、町民の皆様のご要望に的確に答え、更なる飛躍を目指して町政の運営に取り組み所存であります。本年も町民の皆様からご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、この一年が幸多き年となり、災害のない安寧の年となりますことをご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。



写真 川の展望台から見る津南町

# 町民に寄り添う議会に



津南町議会議長  
**草津 進**

明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、7月の九州北部豪雨を始め、台風などによる大雨被害が全国で発生しました。尊い命を落とされたかたがたのご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれたかたがた、被災されたかたがたには心よりお見舞い申し上げます。

津南町におきましては、2年連続の少雪で最高積雪は2メートルに届かず、4月上旬には消雪となり例年よりも早く春作業がスタートしました。しかし、春先の低温、夏場の長雨、台風などの影響により、水稲は一等米比率が50%台、畑作も品目によっては近年にない減収となりました。

町政関係では、平成27年度に策定した「津南町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中間年となり、地方創生をさらに深化させるため事業展開に取り組んでいます。人口の減少、少子高齢

化、過疎化など津南町を取り巻く環境は依然厳しく、病院、ごみ処理、公共交通体系などの課題が山積しており、地域社会や町民の生活にも影響を及ぼすため、早急な対応が求められます。

一方、大船町営住宅の建替え、津南小学校の増改築など、長年の懸案事項に取り組むことができました。さらに、スカイランタンを中心とした津南雪まつり、栄村と連携して取り組む苗場山麓ジオパーク、秋山郷を中心とした周遊観光など、津南の地域資源を活用しながら交流人口の増加が図られていることは誠に喜ばしいことです。

議会といたしましては、津南町議会の活性化を図るため、議長と副議長の任期を申し合わせで2年とし、昨年11月に議長、副議長選挙を行いました。再任されたことにより、議長の重責を引き続き果たしてまいり所存でございます。

また、津南町の更なる発展と魅力あるふるさと津南を築き上げることを目指し、各種施策の推進に今後とも積極的に努力をしていきます。

今年一年間、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



全員一丸でより良い医療を



津南病院長  
阪本 琢也

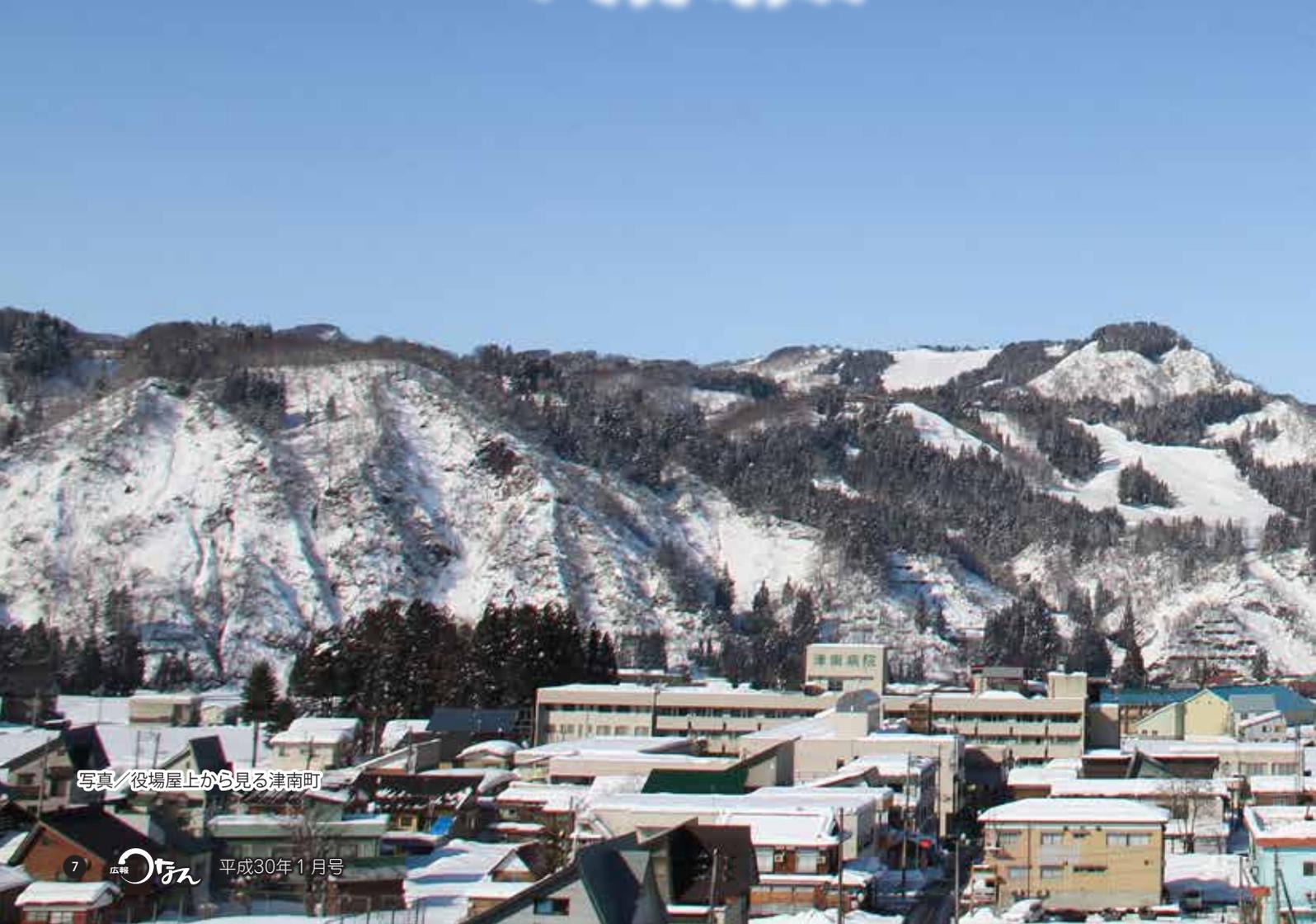
新年あけましておめでとうござい  
ます。皆さまお健やかにご越年のこと  
お喜び申し上げます。昨年新聞報道に  
ありましたように、病院経営面でも町  
民の皆さまにご心配、ご負担をかけて  
おります。人口減少、患者数の減少か  
ら経営に悩む全国の自治体病院と同じ  
く、津南病院も速やかな経営改善には  
多くの課題がありますが、病床が続い  
ていた3階病棟再利用案も具体的とな  
り、今年度は全力で経営改善にも取り  
組みます。昨年開設された訪問看護ス  
テーション、地域連携室も徐々に機能  
し、他病院、町内外の各施設との連携  
は改善され在宅生活支援の環境も整い  
つつあります。

津南病院に求められるのは、まず無  
くてはならない二次救急を担う病院と  
して、そして変わらぬ地域のかかりつ  
け病院としての機能です。経営改善は  
重要な課題ではありますが、最優先す  
べきことは良質な医療の提供です。個々  
の医師、看護師、職員の意識改革、再

教育と自己研鑽、診療科の再整備、  
病床数の調整、人員の適切な配置、  
各部署の業務改善等、病院スタッフ  
全員が一丸となり、より良い医療を  
提供すべく努力することを誓います。

津南町への想い、病院への期待は町  
民の皆さまも病院スタッフも変わら  
ません。町民の皆さまの笑顔が我々  
の原動力です。

本年もよろしくお願いいたします。



写真/役場屋上から見る津南町

▶国立科学博物館1階ホールにもう1点  
火焰型土器を持ち込み観衆を前に発表



▶一人ひとりがおすすすめジオサイトを記事にした苗場山麓ジオ新聞



### 私たちの暮らす苗場山麓

私たちが生きる足下には大地があります。そして、その上には豊かな植物と動物たちが息づいています。私たち人間には、そうした自然界を「恵み」として生活してきた歴史と文化があります。地球が産まれて46億年、苗場山麓に大地がつくられて100万年、苗場山麓に人間が足跡を残してから3万年が経ちました。私たちの暮らしは便利になる一方で、限りある「恵み」は限りを見せ始めてきたかもしれません。今こそ私たちは、大地や自然、その関わりの中で生活してきた歴史や文化を「知り」、「それらの恩恵や記憶・記録に「触れ」、付き合いかたを学んでいかなければなりません。そして、未来へと残し「伝える」ことが、最も大切なことです。

### 大地と雪と縄文文化

今年には長野県北部地震から8年目を迎えます。過去にも起きた大きな地震から、私たちが住む大地が非常に活発な活動をしていることを知りました。災害をもたらす大地の活動がある一方で、湧水や温泉などの恩恵を受け、四季折々多様な魅力を持つのが苗場山麓です。約8000年前には、日本海に対馬暖流が流れ込むことよって海水の温度が上がりました。するとシベリアからの季節風は、日本海を渡る際に多量の水蒸気を蓄え、三国山脈や関田山脈にぶつかって上昇し雪雲となり、苗場山麓にたくさん雪を降らせるようになりました。

そして約5000年前、苗場山麓には落葉広葉樹林がひろがり、火焰型土器を創造した縄文文化が営まれ、その文化は現在にも受け継がれています。

### 故郷を学び発信する

子どもたちがジオパークを通じて自分の暮らす町に誇りを持ち、もつと地元の人や地域外の人たちに知ってほしいと願い頑張っています。

今年度、津南小学校4年生は、「津南町と栄村の未来をつなぐ!苗場山麓ジオパークのTakaramono」を総合学習のテーマとし、栄村のジオサイトを調査しました。認知度調査も行い、「栄村のジオサイトをほとんど知らない」と答えた人が57%という結果を踏まえ、「苗場山麓ジオ新聞」を作成しました。そして、この新聞を栄村・津南町役場やなじもん、商店などが集まる場所に貼り、ジオパークを知ってもらう活動をしています。さらに12月19日には、栄小学校との合同学習を行い1年間の学習成果を伝え合いました。

また、昨年から年間200万人が訪れる東京上野の国立科学博物館に津南町の火焰型土器が常設展示されています。11月16日には、津南小学校の6年生が同館に向き、縄文学習の成果として津南町の魅力と縄文文化について発表しました。

この他にも各小中学校でジオパークに関連した学習が行われ、子どもたちから町内外へ、苗場山麓の魅力を発信する活動が活発に行われています。



▶眼下に石落とし、遠方には妙高山・弥彦山などを望むニユー・グリーンピア津南展望台(通称:谷の展望台)



▶信濃川の向こうに河岸段丘と中津川を望む河岸段丘と信濃川の展望台(通称:川の展望台)



▶ガイドを聞きながらだといろんな発見があつて違った景色に見えてくる！



▶イワナやブラナリアを発見して子どもたちは興味津々。船津川はバイカモの生育地でもある

## ガイドの活躍

苗場山麓ジオパークには、講座に参加し、検定を受けガイドになったかたが現在58名います。仕事を持つているかた、定年退職されたかた、主婦や学生などさまざま、認定後も研修を重ねスキルを磨いています。観光バスなどに同乗し案内をしたり、昨年秋より運行が始まった「秋山郷シャトル便」にも乗り込み活躍しています。地元ガイドが地元言葉で自分の体験などをまじえながらのガイドはとても好評です。この他雪まつりなどのイベントでも苗場山麓ジオパークを紹介するブースを設けてその魅力を発信しています。

## 新たな魅力を探す

苗場山麓ジオパークでは、大学生を対象とした奨励事業や、地質調査、船津川などの生態調査、古道の再確認など、新たな魅力を探し公開しています。その成果は、『津南学』に掲載したり、なじよもの夏季企画展で紹介したりしています。船津川の調査においては、地域の子どもたちと共に自然に触れ合いながらの活動となっています。今後も調査を続けながら、この環境を未来に繋げるためには自分たちに何ができるかを考え、守りながら学習などに活かしていきたいと考えています。

## 我が故郷、雪のふる里

「豪雪」は、苗場山麓の代名詞でもあります。これまで私たちは、どのように「克雪」するのかを考えてきました。それでは、私たちにとって雪とは何でしょうか？

人々がこの多雪環境と共に暮らし始めて8000年が経ちました。嫌になるほどの雪掘り、屋根の雪下ろし、歩行や移動さえままならない冬があるこの地に、人々はなぜ住み続けてきたのでしょうか。

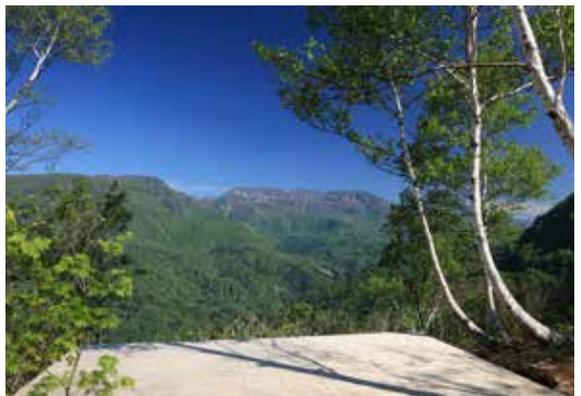
降り積もった雪は、春になると解けて大地にしみ込み野山を潤します。そしてやがて湧水となり、動物や私たちが育みます。自慢のお米もお酒も、雪が解けたきれいな水だからこそ美味しくなります。雪下野菜も、多量の雪と長い積雪期間があつてこそ、美味さを発揮してくれます。「雪室」と呼ばれる貯蔵施設は、いわゆる「天然の冷蔵庫」に他なりません。このように雪も貴重な資源であり、私たちの暮らしは、実は雪に支えられていることがわかります。雪がたくさん降らない年は心から安堵しますが、それによって夏に水不足が起ることもまた事実です。雪がつくりだす水が私たちの生命を繋いでいるのです。

## おわりに

ジオパークというと地形や地質だけのことだと勘違いされがちです。けれども、私たちの足下の大地と、そこに息づいている動植物、そしてそれらの恩恵を受け育まれたこの地独特の歴史文化すべてがジオパークの要素です。これは苗場山麓そのものです。私たちの故郷を未来へと繋げていくために、この苗場山麓を誇りとし、世界中に自慢していきましよう！

## お問い合わせ

ジオパーク推進室  
TEL 765・1600



▶苗場山と秋山郷の深い溪谷を望む前倉下展望台（通称：山の展望台）



▶中津川兩岸の河岸段丘と遠くに苗場山を望むマウンテンパーク津南展望台（通称：空の展望台）

暮らしの  
情報満載

# 見て・知って・得をする かわらばん

## 募集

### 平成30年度 臨時職員の任用登録受付

町が臨時職員の任用(採用)を行う場合は、事前に登録の申し込みをされたかたの中から選考して任用します。平成30年度の任用登録を希望されるかたは、次の要領でお申し込みください。

#### ■申込資格

高校卒業程度の学力を有するかた

#### ■手続き

臨時職員任用希望申込書に必要事項を記入し、総務課総務班に提出してください。

※申込書は総務課窓口に用意してあります。また、町のホームページからもダウンロードできます。

#### ■登録・選考

申込者は町臨時職員任用登録簿に登録され、町が任用を必要とする場合、面接選考を行います。登録は平成30年度1年間有効です。ただし、年度途中の申し込みは、申し込みの日からその年度末までです。なお、登録されても、任用の必要がなく

選考を行わない場合があります。

#### ■受付期間

2月20日(火)までに申し込みいただくことを原則としていますが、希望があれば随時受け付けます。

なお、保育士(要資格)は、1月5日号お知らせ版でご案内しましたとおり、1月29日(月)までに申し込みください(それ以降は随時の申込みとして受け付けます)。

#### ■職種

①臨時事務雇(一般行政事務補助)

②臨時技術雇(保育士(要資格)、保育助手(資格無可)、看護師等)

③臨時技能・労務雇(調理員、用務員、労務補助等)

④臨時学校技術等雇(栄養士(要資格)、支援員(特別支援を要する児童の補助)、複式対応講師、学習支援員)

#### ■任用期間

任用は6か月を超えない期間で、必要とする期間任用します。ただし、業務の都合により更に6か月を超えない期間で任用する場合があります。

#### ■お問い合わせ

総務課 総務班  
TEL 765・3112

## イベント

### 子どもワクワク お菓子づくり

簡単クッキーづくりに挑戦してみよう！皆さんの参加をお待ちしております！

#### ■日時

2月18日(日)

午前9時30分～11時30分

#### ■会場

総合センター 調理室

#### ■申込方法

津南町公民館(文化センター)電話(765・3134)までお願いします。

#### ■対象者

町内小学校1年生～6年生の子ども

(小学生1・2年生は保護者同伴でお願いします)

#### ■定員

20名

#### ■申込締切

2月9日(金)まで

#### ■持ち物

エプロン・三角巾・マスク・出来上がったお菓子をを入れる容器など。

#### ■参加費

500円(材料費として)を当日集めます。

#### ■お問い合わせ

津南町公民館(文化センター)  
TEL 765・3134

### 傾聴スキル・ステップ アップ講座を開催します

主に、傾聴ボランティア経験者を対象に、技能の向上のための講座を開催します。

#### ■日時

2月15日(木)  
午後2時～5時

#### ■会場

十日町地域振興局健康福祉部  
(十日町市高山857)

#### ■講師

有限会社F&Cヨシザキ  
吉崎 利生 氏

#### ■参加費

無料

#### ■定員

20名程度

#### ■申込締切

2月8日(木)

#### ■お問い合わせ

十日町地域振興局健康福祉部  
TEL 757・2400

## くらし

### 救急医療電話相談窓口 (#7119)の開設

夜間に救急車を呼ぶか、医療機関を受診するか迷った時に、看護師等が相談に乗ってくれます。

※緊急の場合はすぐに救急車を要請してください。

#### ■対象

概ね満15歳以上の新潟県内に居住または滞在しているかた

#### ■時間

午後7時～翌朝午前8時まで

■窓口

「#7119」：プッシュ回線の固定電話または携帯電話からの利用  
「025-284-7119」：ダイヤル回線の固定電話、IP電話またはPHSからの利用

■料金  
無料(ただし、電話の通話料金は掛かります)  
■お問い合わせ  
十日町地域消防本部救急係  
TEL 757-1558

農業用免税軽油の申請手続きについて

農業用トラクター、コンバイン等に使用する軽油については、1リットルあたり32.1円の軽油引取税を免除する制度があります。この制度の申請を次のとおり受け付けますのでお知らせします。

なお、国税又は地方税の滞納処分を受けてから2年を経過していないかなどは、申請を受け付けることができません。

■受付日時 2月22日(木)、23日(金)

午前9時～正午・午後1時～4時

■受付場所

新潟県 十日町地域振興局内

■申請に必要なもの

- (1) 今年から初めて申請する場合
- ・ 農機の所有証明 (販売店が発行する販売証明等) 及びカタログ

※用意できない場合は、事前に御相談ください。

ださい。

・ 耕作面積証明書 (農業委員会が発行するもの)  
・ 印鑑  
・ 450円分の新潟県収入証紙  
※十日町地域振興局では販売していません。事前にご用意ください。

(2) 昨年度に引き続き申請する場合は別途案内を郵送してありますので、こちらをご覧ください。

■お問い合わせ  
新潟県 南魚沼地域振興局 県税部 十日町収税課  
TEL 757-5513

■その他

(1) 免税が認められる軽油の量には、耕作面積等に応じた制限があります。

(2) この制度は平成30年3月までの特例措置です。この制度の詳細等については、以下の窓口までお問い合わせください。

■お問い合わせ  
新潟県 南魚沼地域振興局 県税部 十日町収税課  
TEL 757-5513

パートも！学生アルバイトも！  
必ずチェック最低賃金

くらし

新潟県最低賃金	最低賃金額	効力発生日
新潟県で働くすべての労働者に適用されます	時間額 778円	平成29年10月1日

特定最低賃金	最低賃金額	効力発生日
電子部品・デバイス・電子回路、電子機械器具、情報通信機械器具製造業 (電球製造業及び電気計測器製造業を除く)	時間額 870円	平成29年12月21日
各種商品小売業 (衣食住にわたる商品を小売りする百貨店、総合スーパー等)	時間額 810円	平成29年12月31日
自動車 (新車)、自動車部分品・附属品小売業	時間額 877円	平成29年12月29日

最低賃金に関するお問い合わせは、新潟労働局賃金室 (TEL 025-288-3504) または最寄りの労働基準監督署まで ※津南町から最寄りの労働基準監督署は、十日町労働基準監督署 (TEL 752-2079) です。

相談

農業所得の  
収支内訳書作成相談会を  
行います

平成29年分農業所得の収支内訳書の作成方法などについて、次のとおり相談会を開催します。

事前の申し込みは必要ありません。相談時間内、随時ご相談をお受けいたしますので、対象となるかたはぜひご参加ください。

■開催日

2月6日(火)・2月7日(水)

■相談時間

午前9時～正午  
午後1時～4時

■会場

津南町役場3階 大会議室

■お持ちいただくもの

- ① 農産物の販売金額が分かるもの
- ② 農業に関して支出した費用が分かるもの (領収証や通帳)
- ③ 農業収支に関係するJA・共済等からの各種通知書
- ④ 固定資産税の課税明細書
- ⑤ 筆記用具・電卓
- ⑥ 収支内訳書の用紙 (町・県民税申告書の封筒の中に入っています)

■お問い合わせ

税務町民課 税務班

TEL 765-3113

NEWS  
03

## 津南小・栄小の学習交流

— 12月19日 栄小学校 —



↑栄小の発表に元気よく手を上げる津南小の子どもたち

ジオパークを協同で進めている津南町と栄村。その津南小学校と栄小学校4年生が学習交流を行い、親睦を深めました。栄小の発表はとてユニーク！サンシャイン池崎になりきったり、ブルゾンちえみになりきってクイズ形式の発表を行いました。津南小の発表ではジオサイトを巡った動画を披露。また、ジオパークPRソングの「たからもの」も披露し、今後は栄村も含めた歌と一緒に作りたいと提案。ここで栄小から「実は歌を考えている」とサプライズ発表！栄小はその歌を披露しました。

NEWS  
04

## 町の教育に役立ててほしい

— 12月27日 町長室 —



↑寄付金を手渡す村山政文氏（右）

「学校教育寄付金として役立ててほしい」と町長のところへ訪れた村山政文氏。毎年、津南町へ寄付をいただいております。今回は個人で20万円の寄付をいただきました。「大変ありがたく、感謝の言葉に限る」と語る町長。

村山政文氏は株式会社エフエムとおかまち代表取締役を務めており、昨年10月末には津南町と株式会社エフエムとおかまちは災害時応援協定を締結しました。

つなん  
まちかど  
スケッチ

Tsunan Event Sketch.

NEWS  
01

## 継続は力なり!

— 12月12日 辰ノ口公民館 —



↑みんなに会って話すことが楽しみな辰ノ口骨太クラブ

15年という永きにわたり健骨体操に取り組んだ辰ノ口骨太クラブ。その功績を称え、津南町から表彰を行いました。

「体操をきっかけにみんなと会って話すことが楽しみ、継続しているおかげで病院に行く回数が減った」と語る参加者。現在の参加者は女性のみ。今後は男性の参加者も増やしたいとのこと。

NEWS  
02

## ジオパーク民学官会議

— 12月18日 役場大会議室 —



↑CAPのメンバーが集結し、密な意見交換が行われました

苗場山麓ジオパーク民学官会議（通称：<sup>キャップ</sup>CAP）が行われ、津南町長、栄村長をはじめとする各関係者が一堂に会しました。学術指導委員もお招きし、今までの活動報告や今後の計画、平成30年度に迎える再審査について話し合われました。貴重な機会にもなったこの会は、年に1、2回程度開催する予定です。

# とってもスペシャルなTapのクリスマスパーティー

— 12月23日 津南町総合センター —



↑サンタと一緒にツリーランタン作り

総合センターでNPO法人Tapが主催するクリスマスパーティーが開催されました。お菓子の家作りやデコスイーツの小物入れ作り、7色ライトのツリーランタン作り、スポーツ吹き矢や作って動いて遊びのコーナーなど、多くの子どもでにぎわいました。

入り口付近にはクリスマスらしき満点の装飾で飾られており、子どもたちのワクワク感は最高潮に。



↑小物入れをかわいくデコレーション！

会場には小さな子どもたちも多く、保護者と一緒にお菓子の家作りやツリーランタン作りを楽しんでいました。特にお菓子の家作りは大人気！まるで絵本に出てくるようなお菓子の家がたくさん完成しました。

体育館には元気いっぱいの子どもたちとサンタたち！ボールを蹴ったり、ウエイトリフティングを体験しました。今年はどうなクリスマスが来るか今から楽しみです。

## 町の5大ニュース募集中

2017年（平成29年）を振り返る、恒例の「津南町5大ニュース」を募集します。昨年1年を振り返り、皆さんの記憶に残った出来事をお送りください。抽選で図書カードが当たります。たくさんのワイルドなニュースをお待ちしています。

### たとえば…

昨年はこんなことがありました！！

- ・ 7年ぶりの赤澤神楽 舞台引幕を新調！
- ・ 津南中学校駅伝男子 全国大会へ！
- ・ 老人給食ボランティアグループ緑綬褒章を受章！
- ・ 津南町消防団23年ぶりの単独演習！
- ・ 地域おこし協力隊 最多の4人就任！
- ・ 第17回全国障がい者スポーツ大会 根津勇生さん優勝！
- ・ ジオパーク展望台完成！

などなど、もちろん上記以外にも

思いつくものなんでもご記入ください！

### 応募方法 **ハガキ** **FAX** **メール**

住所、氏名、年齢、電話番号、そして選んだ5大ニュースを1位から5位まで記入し、下記の宛先までお送りください。

宛先／〒 949-8292

津南町大字下船渡戊 585 番地

津南町役場総務課広報担当

消印／1月31日(水) まで有効

FAX／025-765-4625

Email／somu@town.tsunan.niigata.jp

# 十日町税務署からのお知らせ

平成 29 年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書の受付と納税は、  
**平成 30 年 2 月 16 日(金)から 同年 3 月 15 日(木)まで** です。

## ●申告書は、国税庁ホームページで作成できます！

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で、ご自宅のパソコン等から申告書を作成することができます。(国税庁ホームページ <http://www.nta.go.jp>)

当コーナーは、初めてのくたでも操作がしやすい画面となっておりますので、是非ご利用ください。

作成した申告書は、マイナンバーカードと IC カードリーダーライターを準備すれば、「e-Tax (電子申告)」を利用して提出できます。

また、印刷して郵送等により提出することもできます。

## ●確定申告書の提出が必要なくたは忘れずに申告してください。

1 所得税等の確定申告が必要なくた

● 営業、農業、不動産所得などの所得金額 (収入 - 必要経費) が、所得控除の合計額を上回るくた

● 給与所得者で、次のいずれかに当てはまるくた

・給与の収入金額が 2,000 万円を超えている

・給与を 1 ヶ所から受けていて、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が 20 万円を超えている

・給与を 2 ヶ所以上から受けている など

※給与所得者で確定申告が必要ないくたでも、雑損控除、医療費控除、住宅借入金等特別控除などにより税金の還付を受ける場合には、所得税等の確定申告が必要となります。

2 公的年金等受給者の確定申告不要制度について

公的年金等の収入金額の合計額が 400 万円以下のかたは、公的年金等以外の所得金額が 20 万円以下の場合には、所得税等の確定申告は必要ありません (市・県民税の申告は必要となる場合があります)。

税務署では所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次の期間に開設いたします。

期 間：平成 30 年 2 月 16 日(金)から 3 月 15 日(木)まで

(土、日及び祝日を除きます)

時 間：受付／午前 8 時 30 分から

相談／午前 9 時から午後 5 時まで

確定申告会場の開設日までは、相談スペースが限られており、長時間お待ちいただく場合があります。

## ●確定申告に関するお問い合わせはお電話で！

～ご不明な点等は電話で問い合わせることができます～

十日町税務署代表電話 752 - 3181

この電話番号は、電話がつながると音声案内が流れますので、確定申告に関するお問い合わせは、電話機の「0」を押してください。

## 税理士による無料相談のご案内

少額な申告相談および申告書の作成を、次の税理士事務所において無料で行います。相談を希望されるかたは、事前に電話連絡のうえお出かけください。

2月6日(火)

- ・酒井 栄一 (十日町市) TEL 757-8421
- ・大口 康幸 (津南町) TEL 765-2542
- ・高橋 昇男 (十日町市) TEL 757-8750
- ・渡邊 修 (十日町市) TEL 752-2073

2月7日(水)

- ・高橋 敦 (十日町市) TEL 752-3122
- ・和久井 工 (十日町市) TEL 752-2073
- ・尾身 信幸 (十日町市) TEL 755-5337
- ・水落 信市 (十日町市) TEL 757-2548

2月8日(木)

- ・今出川 景 (十日町市) TEL 757-3151
- ・水落 雅史 (十日町市) TEL 757-2548
- ・高橋 正也 (十日町市) TEL 757-2144

◆事前連絡の受付時間

午前 9 時 30 分～午後 4 時

# 町立病院運営審議会だより

## 答申概要

### 1 答申の基本的な考えかた

今後の目標として「継続して、住民の暮らしと命、健康を守ることが出来る町立病院の維持」を掲げ、現在の赤字幅を50%程度圧縮し、町単独の赤字補てんについては1億5千万円程度に抑制することを当面の目標として答申の取りまとめを行いました。

### 2 答申の具体的提案について

#### ① 3階の利活用

休床になつている療養病床を転換して居住スペースを20床設置されたい。

#### ② 院外薬局の導入

院内薬局から院外薬局へ転換されたい。

#### ③ 通所リハビリの拡充

通所リハビリ、予防通所リハビリに取り組み、要介護2以下のかたがたへのサービースに努められたい。

#### ④ 外来診療科の見直し

内科は4名の常勤体制を5名へ、外科は外科外来を週4回から2回へ、整形外科は常勤化、小児科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科は患者動向などを見極め、毎年見直しを図られたい。心療内科は当面現状を維持し、必要な都度見直しを図られたい。

#### ⑤ 在宅医療の充実

病院へ来ていただく医療とともに、外出く医療に取りに組まれたい。

#### ⑥ 実態に即した一般病床数の改変

一般病床数を40床とされたい。

#### ⑦ 地域包括ケア病床の設置

地域包括ケア病床を4階の一般病棟内に5床程度設置されたい。

#### ⑧ 救急医療

救急医療を継続されたい。常勤医師5名の確保をめざし、非常勤医師対応回数への低減を図られたい。

#### ⑨ 人間ドック・町民健診等の充実

人間ドック・町民健診等の受診環境を改善し、より多くの町民から受診していただくように図られたい。

#### ⑩ 医療内容の積極的な情報提供

診療内容を積極的に住民に啓発し、公共交通など受診環境の整備・充実に努められたい。

## 町の考えかたの要点

この答申の内容については、基本的に尊重しながら病院改革を実現したいと考えています。

まず、町民の安全・安心を確保できる町立病院の医療サービスをしっかりと堅持、継続いたします。そのためにも、当面の目標として、町単独の赤字補てんについては年間1億5千万円程度に圧縮できるように、努力いたします。

答申の具体的提案についての取り組みは以下のとおりです。

① 3階の利活用については、高齢者の居住スペースに転換する改修工事と、院内の受入れ準備を行い、平成31年度にオープンをめざします。

② 薬局については、院外薬局を導入いたします。また、足腰の悪い高齢者などには病院まで直接お薬の配達をしていただくサービスをお願いするなどの配慮もいたします。

③ 通所リハビリの拡充については、積極的に受入れを行います。また、その通所リハビリを利用するかたがたの昼食・休憩場所として、3階療養病棟の病室を2室6床分のスペースを利用いたします。

⑥ 一般病床数の改変については、適正な一般病床の病床数に変更するため、62

これまで計12回の審議会を開催して、昨年12月25日に町長へ答申をいたしました。答申の内容、町の考えかたをご紹介します。

床から45床に変更いたします。

⑦ 地域包括ケア病床については、申請できるようにした段階で、一般病床を40床とし、一般病床5床分を地域包括ケア病床に転換いたします。予定としては、平成33年度から、一般病床40床、地域包括ケア病床5床で病棟運営ができるように考えております。

次に、年次の考えかたを明示することは困難ではありますが、④の「外来診療科の見直し」、⑤の「在宅医療の充実」、⑧の「救急医療」、⑨の「人間ドック・町民健診等の充実」、⑩の「医療内容の積極的な情報提供」については、患者動向やニーズ把握に努め、毎年見直しを図ります。できるだけ早い段階で町立病院のあるべき姿が実現できるように、努力いたします。

以上が町立病院運営審議会の答申に対しての、町の考えかたの要点です。  
ご意見・ご要望等がありましたら津南病院へお寄せください。

### ■お問い合わせ

津南病院  
TEL 765-3161



■アンケート結果による健康づくり達成状況

健康づくり目標事項		H23	目標値(H29)	アンケート結果(H28)	達成状況
朝食の欠食者の割合	小5	2%	0%	0%	◎
	20代	31%	20%	35%	△
	30代	26%	20%	27%	△
食事のときテレビをつけない家庭		31%	50%	25%	△
食事をバランスよく食べている人		69%	80%	60%	△
健康づくり支援店		18店舗	25店舗	18店舗	△
運動が大好きな子ども		73%	75%	72%	△
喫煙者の割合(40歳未満)	男性	41%	39%	40%	○
	女性	14%	5%	13%	○
食育の日や食育週間を知っている		56%	70%	51%	△
メタボリックシンドロームを認知している		76%	80%	72%	△
継続的に運動をしている人(週1回以上)			35%	36%	◎

◎=達成 ○=未達成だが改善 △=未達成

「食育」について関心がある・どちらかといえば関心があると回答した人は48%、どちらかといえば関心がない・関心が無いと回答した人は35%でした。年代別にみても、全体的に低く、まだまだ食育に関心を持っている人が少ないことが分かりました。

朝食を毎日食べている人の割合(図1)は81%、但し若い世代では朝食を食べている人が少なく、特に20歳の欠食率は、42%と高く、大変憂慮すべき結果となりました。食べない理由としては、「時間

■20歳の朝食の欠食率が4割

町では、町民ぐるみで健康づくりに取り組むため、平成20年6月に「町民ぐるみ健康づくり宣言」を宣言し、「食育の推進」「運動習慣の定着による丈夫な体づくり」「心の健康づくり」の3つの柱を基本として各種活動に取り組んできました。

取り組みの成果を確認するため、町では、5年毎に「健康に関するアンケート」を実施しています。

今回のいきいき大好き津南町のコーナーでは、平成28年度末に実施したアンケート結果の概要及び健康づくり達成状況についてお知らせします。

「運動不足」を感じている・やや感じていると回答した人は72%、あまり感じていない・感じていないと回答した人は26%と、運動不足を感じている人が多く、特に働き盛り世代を中心に運動不足を感じていました。

日常生活の中で、自分自身の体について支障を感じている人の割合は5年前と比べると、それほど大きく変わっていませんでした。しかし、60歳以上で自分自身の体に支障を感じている人の割合が多くなっており、特に75歳の割合が一番多い結果となりました。

■運動不足を感じているかたが7割

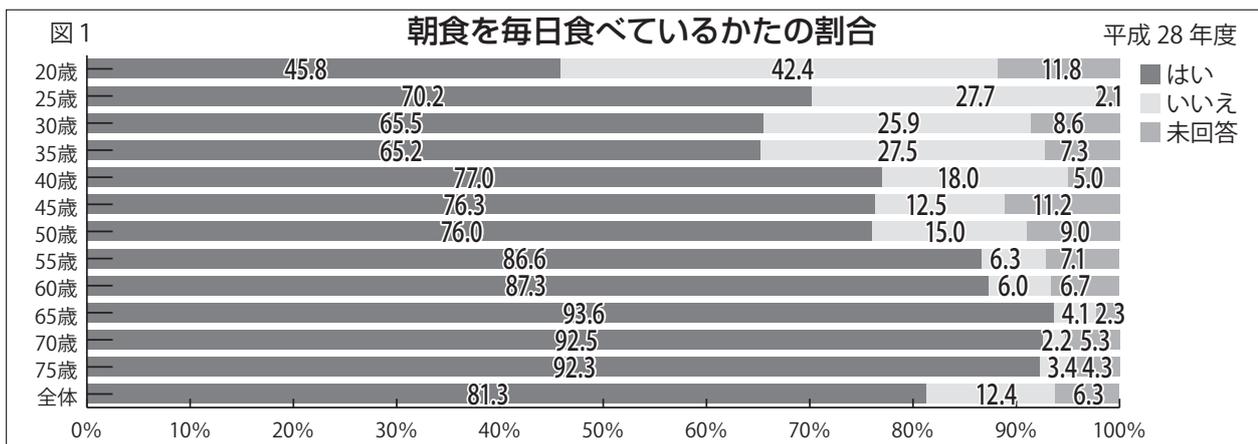
「食べる気がしない」等が挙げられます。

また、主食・主菜・副菜をバランスよく食べている人は60%、一方20歳ではわずか20%、朝食の欠食率同様若い人ほどバランス良く食べている人が少ないことが分かりました。

このことから、食育に関しては引き続き若い世代を中心とした取り組みが必要です。今後も朝食やバランスよく食べることの大切さの普及啓発等に努めます。



健康に関する アンケート結果からわかったこと (概要版)



町民あるけあるけ大会  
「景色を楽しみながら歩きました。」

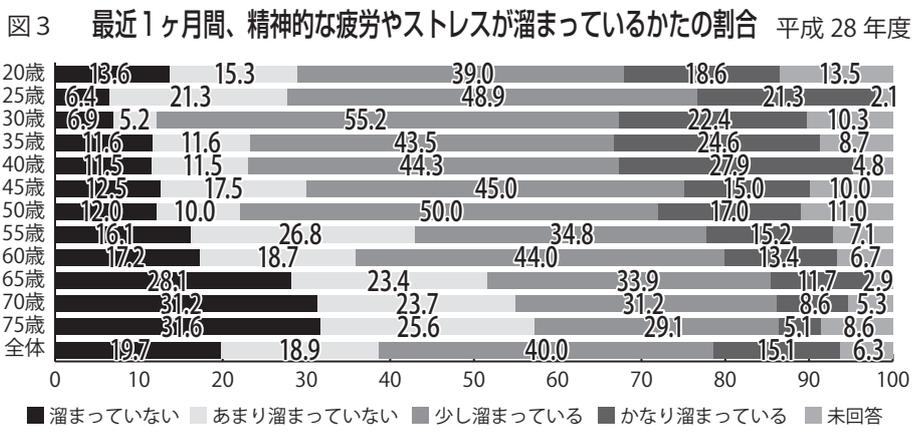
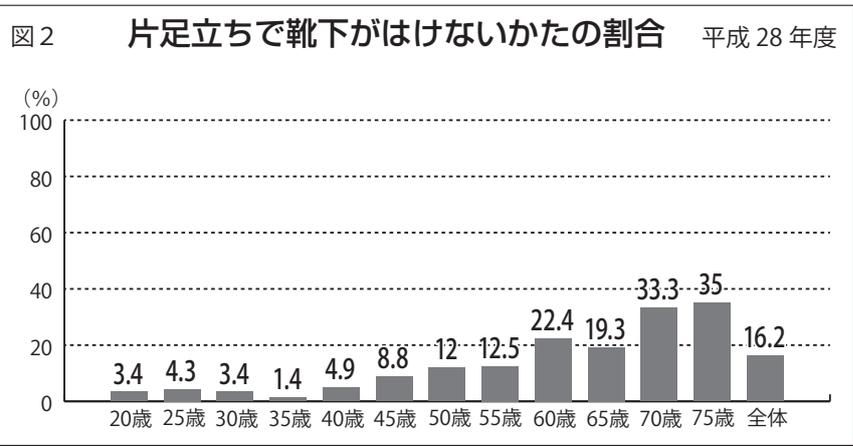


支障を感じる項目の中で、「片足立ちで靴下がはけない」(図2)「家の中でつまづいたり滑ったりすることがある」と回答した人が5年前よりも増加していました。理由としては、運動不足によるバランス感覚や柔軟性の衰えがあるのではないかと考えられます。また、ロコモティブシンドローム(※)の疑いも強くなります。このことから、運動不足や筋力低下を予防するために、自分に合った運動の取り組みが出来るよう、運動に関する情報等の普及啓発に努めます。

※ロコモティブシンドローム(通称…ロコモ)とは、運動器が衰え、日常生活の「立つ」「歩く」などの動作が困難になる状態のこと。

■ ストレスを感じているかたが割合

『最近一か月間、精神的な疲労やストレスが溜まっていますか』(図3)の問いでは5年前と比較すると「かなり溜まっている」と回答した人が、以前には見られなかった25歳、30歳、35歳でも20%を超える結果となっており、より若い年齢層から慢性的な精神的疲労やストレスを感じていることが分かりました。このこ



とから、青壮年期のうち病予防のために、職場でのメンタルヘルスへの取り組みを強化していくことが重要です。

『ストレスを感じた時や溜まった時、あなたはどのような方法で解決しますか』の問いでは、「家族や友人に話を聞いてもらう」「テレビを見たりラジオを聞いたりする」「寝る」「のんびりとする

時間をとる」が各年代で20%を超えています。

『家族や友人とよく話をしますか』の問いでは5年前と比較し、全体的に「よく話をする」と回答した人の割合が低下していました。「よく話をする」と回答した人は50歳が約40〜50%と最も低い結果で、職場でも家庭でも忙しい年代の生活が推測できました。日ごろからの会話がお互いの理解を深め、また精神的に問題が生じた時に、いつもと違う様子に早めに気付く機会になることから、コミュニケーションの大切さを啓発していくことが必要となります。

■ アンケート結果から

今回のアンケート結果等をもとに、今後、町保健医療福祉計画や食育推進計画づくりを進めてまいります。健康づくりは、地道な取り組みによって良い結果が得られます。生涯を元気で過ごすためには、乳幼児期からの食生活や体力づくり、健全な環境づくりが重要となります。

これからも町ではさまざまな取り組みを行ってまいります。その取り組みが個人から始まり、家族、学校、地域へと広がっていきけるよう活動していきます。

みんなで食育をすすめる、丈夫な体を作り、豊かな心を育むことで、一人ひとりが「元気」で「笑顔のある」「輝いている町」にしていきましょう。



はい  
保健師  
です

今月は  
大平裕加里  
保健師



## 皮膚の乾燥による かゆみを予防しよう！

冬になると皮膚が白く粉をふいて手足がかゆい…こういった皮膚の乾燥によるかゆみにお困りのかたは意外と多いのではないのでしょうか？

皮膚の乾燥を放置したままでは、症状が悪化するのほもちろん日常生活に支障が出ることもあります。

例えば、皮膚が乾燥すると外からの刺激を受けやすくなるため、ちょっとした刺激にも敏感になります。下着のしめつけ部分がかゆくなったり、髪や服のチクチク感が気になってストレスや集中力の低下を招いたりします。かゆみがひどい場合は、睡眠不足に陥ることもあります。

また、かき過ぎてしまうことで皮膚が炎症を起こし、それが長期間にわたると色素沈着をおこす場合もあります。

皮膚をひつかくこと自体が刺激になってさらにかゆみが生じ「かゆいからかく」↓「かくことでさらにかゆくなる」という悪循環に陥ります。

乾燥を放置したまま自然と治ることは難しく、まずは日常生活の改善や適切なスキンケアを取り入れることが大切です。

### 〈皮膚の乾燥を防ぐポイント〉

#### ◆入浴編

・お風呂やシャワーはぬるめ（40度前後）に設定し、短時間にする。

・体を洗うときは少量のせっけんやボディソープ（低刺激のものがよい）をよく泡立て、手で優しく洗う。

#### ◆暖房編

・暖房を使用するときは、加湿器をつけたり、濡らしたタオルを干したりして加湿する（湿度の目安：40～60%）。

・電気毛布は布団に入るまで温めておき、就寝前にスイッチを切る。

#### ◆スキンケア編

・1日1～2回保湿剤を塗る。塗るタイミングは入浴後が効果的。

・入浴後は水分が蒸発するのですぐに保湿する。

そのほか、下着や服はしめつけ感のない天然素材を選んだり、爪は短く切っておいたりすることも大切です。



## 健康づくり ア・ラ・カルト

### 元気で暮らす日々

恩田さんは大正12年生まれの95歳です。今回は、毎日元気に農作業や老人会の事業に参加している恩田さんに、話をお聞きしました。

#### 野菜づくりが生きがい

95歳になりますが、大病や怪我をするわけでもなく比較的元気に過ごしてきました。

目も耳も年の割に良く、日常生活で不便を感じることは殆どありません。

毎朝6時30分から7時の間に起床し、新聞に目を通します。春から秋までは家の周辺の一反歩の畑で、家族のためにいろんな野菜を作っていることが生きがいとなっています。

食べ物が好き嫌いはなく、なんでもよく食べ、週5日の晩酌一合を楽しみにしています。

老人会の忘年会や春会には参加し、カラオケで好きな歌をうたうことも楽しみのひとつです。

#### 元気に百歳を迎えたい

若い時には3年間徴兵され、多くの戦友を失いつらい経験もしました。

7人兄弟の4番目で、91歳の妹が健

鹿渡 恩田 尚利さん

在です。時々、電話で話することも楽しみとなっています。父は58歳で亡くなり、3人の子どもを育てるために出稼ぎに出ていろんな仕事をしてきました。集落の役員なども自分にできることはできる限りやってきました。

今は、長男夫婦と生活しています。苦楽を共にした妻は2年前から『みさと苑』に入所していて、月に4回程度は妻の顔を見に行くことも日課になっています。家からみさと苑までは路線バスを利用し、みさと苑から大割野までは運動だと考え歩いています。

長い人生、つらいこともありましたが、このまま健康状態を維持して、元気に百歳を迎えたいと思います。

祝 長寿 9月18日津南町敬老式  
元気に出席されました…♡♡♡



恩田さんと上村町長…♡♡♡  
いつまでもお元気でください♡♡♡

# 病院歳時記

きちんとお薬が

飲めていますか？

総看護師長 風巻 真理子

「服薬」の一連の動作には以下のことが挙げられます。

- ① 薬の包装を破る
- ② 薬を取り出す
- ③ 薬を口元まで運ぶ
- ④ 薬を口の中に入れる
- ⑤ むせずに飲み込む

①～⑤のいずれかに問題がある場合は、視力・聴力・認知力・運動機能・嚥下機能の低下がないか確認してみてください。

あと薬の飲みかた（薬の用法・用量・方法や回数）についても確認してください。

安全に薬が飲めるように問題がないか回りのかたが注意し、支援が必要な場合は看護師や保健師、ケアマネージャーさん等に相談してください。



# 年金コーナー

4月からの口座振替・クレジットカードの一括納付は、2月末が申込み締め切りです。

国民年金保険料は、納付方法

やまとめ払いにより割引があります。中でも、口座振替による一括納付（前納制度）は割引額も多くお得なのでお勧めです。

平成30年度分国民年金保険料から新たに、6カ月前納・1年前納・2年前納で納めたいとお考えのかたは2月末までに手続きが必要です。税務町民課窓口でも手続きができます。

口座振替の場合は、口座振替をする金融機関の通帳とその口座の届出印をお持ちください。クレジットカードの場合は、クレジットカードと印鑑（認印可）をお持ちください。

現金（納付書）での前納をお考えのかたは年金事務所にお申し出ください。

【お問い合わせ】

津南町役場 税務町民課

TEL 765-3113

六日町年金事務所

TEL 025-716-0800



## 議会コーナー



### ＜実施された行事＞

- 〔1月〕
- 4日 町各界年賀交歓会
  - 5日 新潟県町村議会議長会議議長会議
  - 7日 津南町消防出初式
  - 10日 議会運営委員会
  - 10日 全員協議会
  - 16日 教育委員会との懇談会（総文福祉常任委員会）

### ＜今後予定されている行事＞

- 〔1月〕
- 25日 JA津南町・町農業委員会との懇談会（産業建設常任委員会）
- 〔2月〕
- 6日 全員協議会
  - 8日 所管事業勉強会（総文福祉常任委員会）
  - 9日 所管事業勉強会（産業建設常任委員会）
  - 16日 一般質問締切
  - 20日 議会運営委員会

## 健康体づくり100日運動

毎月10日までに100日運動カードを提出いただいたかたを、このコーナーでご紹介します（敬称略）

- 5800日 藤ノ木キミ(堂平)
- 4500日 高橋美佐子(見玉)
- 2900日 鈴木カヨ(船山新田)
- 1900日 若井栄一(穴山)
- 1300日 石橋俊治(割野)
- 800日 保坂良雄(大井平)
- 700日 桑原久美子(秋成)
- 500日 桑原喜枝(秋成)高橋幸枝(秋成)
- 400日 江村リン(押付)
- 300日 福原一井(外丸)
- 200日 風巻さつ子(大割野)
- 100日 田中ふみ子(中深見)山本光夫(中子)桑原シズ(貝坂)

主な運動：ウォーキング、ジョギング、ストレッチ、健骨体操など





### 新年のあじわい

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

昨年も町社会体育事業やケアハウス津南を核とした健康づくり事業を行い、たくさんの方々と「つながり」ができた年となりました。

本年もTap理念である「つながり」を大切にしながら、元気に活動をしていきますので、Tapを何卒よろしくお願いたします。



今年もたくさん笑顔のある津南を目指します。

「エンジョイライフ」応援します！ Tapの各種教室に参加してみませんか？

Tapでは今年もみなさんに楽しく体を動かしていただけるよう、各種教室を開催します！定期的に運動を継続し、日々の生活をもっとエンジョイしていただきたいと思っています。「卓球で思い切りハッスル！」「エアロビクスで心身ともにスッキリ！」「ロコチャレでじっくり筋トレ！」今年もこの3つの教室でみなさんの身体と心の健康を応援していきます！見学・体験も大歓迎です。

まだまだ寒い日が続きます。つつい、運動不足になりがちですが、そんな時こそ、Tapの教室に参加して気持ちのいい汗をかきましょう！

教室のスケジュール・参加料など詳細についてはTap事務局へお気軽にお問い合わせください。

■お問い合わせ (特非) Tap  
Tel 765-5776



Tap事務局【TEL】765-5776 【FAX】765-3596

# 地域おこし協力隊だより

三箇地区担当の諸岡です！

いよいよ本格的に津南の冬が始まりましたね。私自身津南町に来て今年で3年目ですが、昨年、一昨年と稀に見る小雪だったので、本当の津南の冬は今年が初めてと言っても過言ではありません。それくらいドキドキワクワクしています。雪が降り始めると、畑で野菜も作れなくなったり、あまりに雪がげに降る日は外出もできなくなります。(特に私のような雪道運転初心者は大雪の日は外に出ないのが一番です) 地元のかたと話している中、「あれもこれもできなくなる」とできないことがばかばかしく聞きます。ですが、本当にそうでしょうか。私は「できないことがあるから、できることもある」と思っています。人間は自然の力には敵いません。ときには自然に合わせて無理をせずに暮らすことがいいときもあります。この辺りは一歩間違えれば命の危険と隣り合わせなので、強制的にできないことも多いと思います。その分、潔くあきらめるといっても地元のかたちちのなかには根付いているのだなと思います。私も冬は無理をせず、自然に合わせて過ごそうと思っています。そんな中でも実は冬だからやりたいことがたくさんあって実は結構忙しいのです。他の季節ではなかなか時間がとれないことに





### 『日本史の内幕』

磯田 道史／著 中央公論新社

歴史の「本当の姿」は、古文書の中からしか見えてこない。小説や教科書では、わからない豊臣秀頼の出生の秘密や、西郷隆盛の書状など、古文書の達人だけが知る歴史のウラ側を教えてください。

・・・七福神とは・・・

七福神は、日本や中国、インドから集まった恵比寿(えびす)、大黒天(だいくてん)、毘沙門天(びしゃもんてん)、弁財天(べんざいてん)、寿老人(じゅろうじん)、福祿寿(ふくろくじゅ)、布袋尊(ぼていそん)の神様のこと。古くから幸福と財産の神様として信仰されています。

七福神の信仰は、仏教経典の「七難を消滅すれば、七福が生ずる」から生まれたもので、室町時代になると幸運や金運、福を授けてくださる神様として7柱の神様が一緒に信仰されるようになりました。(神様は1人、2人とは数えず、1柱、2柱と数えるそうです。)

7柱の神様には、それぞれ特徴がありますが、恵比寿様は七福神の中で唯一、日本生まれの神様と言われています。

### 1月の新着図書 (HPでも検索できます)

#### 【大人の本】

- 『奔流恐るにたらず』……逢坂 剛／著 講談社
- 『インフルエンズ』……近藤 史恵／著 文藝春秋
- 『構造素子』……樋口 恭介／著 早川書房
- 『道標』……今野 敏／著 角川春樹事務所
- 『名作なんか、こわくない』……柚木 麻子／著 PHP研究所

- 『俺はエーゼント』……大沢 在昌／著 小学館
- 『火定』……澤田 瞳子／著 PHP研究所
- 『破滅の王』……上田 早夕里／著 双葉社
- 『ふたご』……藤崎 彩織／著 文藝春秋

#### 【子どもの本】

- 『オリンピックのおばけずかん』……齊藤 洋／作 講談社
- 『えがないえほん』……B.J.ノヴァク／さく 早川書房
- 『活版印刷三日月堂3』……ほしお さなえ／著 ポプラ社
- 『5分後に恋の結末』……橘 つばさ／著 学研プラス
- 『あかいふうせん』……山田和明／作 出版ワークス

ます。この神様は、日本神話のイザナミ

る36の習慣』

(女神)とイザナギ(男神)の間に生まれた子供(ヒルコ)などの言い伝えがあり、知恵を働かせて汗水流して働けば、商売繁盛や五穀豊穡をもたらしてくださると考えられています。

#### 児童書

『アナと雪の女王』

サラネイサン／作

12月に多く読まれた本をご紹介します。

『おしりたんてい』 トロル／さく

#### 一般小説

『教場0』

『麒麟の翼』

『キラキラ共和国』

『マスクレイド・ナイト』

『毒母ですが、なにか』

『自然科学』

『医師が教える幸せな人がやめてい

長岡 弘樹／著

東野 圭吾／著

小川 糸／著

東野 圭吾／著

山口 恵以子／著

『言葉屋2』

『精霊の守り人』

『あくまちゃんどてんしちゃん』

『オニのサラリーマン』

『しゅっちょうはつらいよ』

久米 絵美里／作

上橋 菜穂子／作

『ノラネコぐんだんアイスのくに』

『開館時間』

『休館日』

『図書室の開館時間・休館日』

平日 9時～18時

土日祝 8時30分～17時

1月29日(月)、2月26日(月)

厚さ6.5cm、1,024頁の白黒写真集です。デザイナーである著者が戦後出版された内外の有名な写真集から38冊を選び、一冊の本に編集しました。選ばれた作家陣は、濱谷浩、ウリアム・クライン、ロバート・フランク、森山大道、石本泰博、アヴェドン、東松照明、新しめのところ、ティルマンズ、長島有里枝、ホンマタカシ、大森克己、佐内正史、といった大家のかたがたです。

普通ならばこれらの作品に解説文をつけて紹介し、アートとしての写真歴史を振り返ってみせるのですが、この本は異質です。著者がカメラを使い、写真集を撮影しているからです。しかも、カラー作品も白黒に撮り直し、写真によっては一部分しか写っていないかったり、カメラを傾けて斜めに撮ったり、写真の粒子もざらざらです。著者なりに写真の冒険を試みてみたかったのでしょう。

厚さ6.5cm、1,024頁の白黒写真集です。デザイナーである著者が戦後出版された内外の有名な写真集から38冊を選び、一冊の本に編集しました。選ばれた作家陣は、濱谷浩、ウリアム・クライン、ロバート・フランク、森山大道、石本泰博、アヴェドン、東松照明、新しめのところ、ティルマンズ、長島有里枝、ホンマタカシ、大森克己、佐内正史、といった大家のかたがたです。



—— 涌井 博子さんから

紹介する本

### 町口覚—000

町口覚／著

ふくはらのぼる 福原 昇さん(陣場下)

短歌

砂丘

自らのえんぴつ削り機取り出して

幼は削り吾に見せに来る(公文教室)

幼き日父の布団に潜り込み

太股に足を当て温まりぬ

正月に凧を求めし店はなく

雪原のただ白く広がる

口に胡桃をはさみ目の前を

歩みて過る鳥を尾行す

花嫁の放るブーケの弧を描き

幸せのバトン君の受けをりテークトス

雲速く空を流れてゆくさまを

雨水たまる田の映しおり

膨れたる小さき緑の実の弾け

真白き綿の「ホワ」と現る

歩みゆく人の気配の無き村に

バス停在りて蟬響き合う

呆け防止と簡単な仕事をかるく受け

夜業となりて疲れを覚ゆ

木にからみ花房垂りて山藤の

友禅のごと色持ちて咲く

わが手にてむしり取りたる草みれば

愛らしき花無数に咲けり

二・三日雪降り止めば冬空も

うすむらさきに高さを感ず

緋も艶な壺屋陶器の熱き酒

帰省の子らと今宵酌み合ふ

魂も来世も一切信じねど  
生れ来て死ぬがわれの大切

石橋寿子

津端恵子

貝澤圭子

関谷郁子

恩田久美子

丸山直子

小野寺恒代

高橋春枝

内山キク

麻績初恵

滝沢勝枝

風巻京子

鈴木綾子

萩原光之

俳句

長生学園

年明けて昔ながらの膾炙と

煮物もそえて歳重ね行く

来る年は十歳となる末の女孫

吾の背流して自が髪洗ふ

個人.....  
島田眞之

病院で拙き短歌を頑張て

吾励まされ胸熱くなり

グループホームひまわり  
清水貞子

岩すげ俳句会(十二月)

年の瀬の匂ひ連れくる刃物研ぎ

生きものの姿途絶えし冬川原

朝まだき犬の躰や雪明かり

冬めくや両手で包む抹茶碗

山の幸与えてくれし山眠る

小さき手に霰を包み菓子のごと

なかなかはまだ打たれざる冬の蠅

仲直り先づ積雪の話から

謝罪する禿頭に凝る寒さかな

水仙を活けてしみじみひとり言

初雪のゆっくり降りる寺の空

房良  
東川  
芳司  
渡舟  
貞  
れい子  
美恵  
冬詩子  
千年雄

壽子

妙

か?これが許されるのは、作者が著名なデザイナーのかただからだと思つのですが、ちよつと衝撃的な仕事です。

最初は「なんじゃこりゃ」の自分でしたが、やがていくつかの事を学びました。それは「良い写真はどう崩してもやっぱ良い」ということです。それと「新しい人も素晴らしい」ということ。写真の断片を見て「これいいな」と思うとホンマタカシ。「あ、これ誰の?」と思えば佐内正史。それまで若い作家に関心がなかったのですが、この本で考えが改まりました。

次は陣場下の朝井英花さんです!

# 戸籍の窓

おめでとう  
おさいます (出産)

- 小島 希空(大割野) 大輔さん 奈智さん
- 瀧澤 志葵(陣場下) 慶太さん 香菜子さん
- 滝沢 結稀(秋成) 佳彦さん 友美さん
- 桑原 奈々(陣場下) 孝紀さん 万美子さん
- 半崎 森晴(陣場下) グリフィス ピータージョージさん 半崎 恵さん

すえながく  
おしあわせに (結婚)

- 高橋 尚人さん(辰ノ口) }
- 武田 亜美さん(大割野) }
- 高橋 友真さん(大割野) }
- 津端 麻弥さん(大割野) }

おくやみ  
もうしあげます (死亡)

- 石沢長一郎さん (86歳・卯之木)
- 涌井 忠英さん (82歳・相吉)
- 大倉 あいさん (98歳・大割野)
- 関谷 精一さん (85歳・赤沢)
- 櫻澤マツ子さん (89歳・船山新田)
- 村山 勝美さん (64歳・十二ノ木)
- 藤ノ木吉則さん (91歳・反里口)
- 石沢 信之さん (91歳・鹿渡新田)
- 津端 コウさん (92歳・割野)
- 桑原 トヨさん (91歳・城原)
- 高橋 弘美さん (61歳・十二ノ木)
- 滝沢 みねさん (78歳・赤沢)
- 山田タケノさん (92歳・朴ノ木坂)
- 桑原喜久治さん (87歳・貝坂)
- 山田慶一郎さん (80歳・所平)

## ●第8回 Myコレクション展

会期 / 2月3日(土)~ 3月3日(土)

入場料 / 無料

さまざまなコレクションが、なじよもんに集結します。

驚きに満ちたコレクションの数々を、どうぞお楽しみください。



昨年のレセプション

<レセプション>

2月3日(土)10:00より、出展者にコレクションの紹介をしていただきます。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

## ●琥珀の勾玉づくり

日時 / 2月18日(日) 13:30 ~ 15:30

体験料 / 1,000円

縄文時代から特別な石として珍重された琥珀を磨いて勾玉を作ります。

勾玉または、块状(けつじょう)耳飾りをイメージしたペンダントが作れます。



琥珀の勾玉づくり

## ●「ならんごしの会」会員募集

「ならんごしの会」は、アンギン編み技術を後世に伝承する活動を行っています。その技術は津南町の無形文化財に指定されています。

アンギン編みは、カラムシなどの植物繊維をもじり編みで編んだもので、縄文時代の遺跡からも発見されています。

ぜひ、あなたも一緒に活動しませんか?お気軽に「なじよもん」までお問合せください。



アンギン編み体験の様子

2月 【なじよもん ☎ 765-5511】

予約受付中! 当日受付も可  
※ただし定員になり次第締切ります

日時		プログラム	金額	対象
18日(日)	9:00~11:00	スノーシュー ~なじよもんの森へ~ ※要予約	300	低学年以上
	13:30~15:30	琥珀の勾玉づくり	1,000	10才以上
25日(日)	9:30~12:00	冬の縄文人の暮らし体験 ※要予約	1,000	低学年以上

※友の会の皆さんは半額です。

# 除雪機による 事故を 防ごう

人がいる時は  
使わない!



作業中は絶対にまわりに人を近づかせない。

エンジンを  
掛けたまま  
離れない!



作業の時は、必ずエンジンを停止する。

後方注意!



後進する時は、足もとや後方の障害物に気をつける。

雪かき棒を  
使って!



雪かき棒を取り除く時は、エンジンを止めて必ず雪かき棒を使う。

使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう

## 津南町の人口

■人口9,876(-17) 男4,782(-8) 女5,094(-9)  
1月1日現在( )内は前月比  
■世帯数3,551(-2) ■転入 / 12 ■転出 / 16 ■出生 / 5 ■死亡 / 18 ■婚姻 / 1